

現代生活学部

人材養成目的

人間社会や文化に対する確かな認識を基盤として、現代に生きる人々が豊かで健全な生活を形成するために必要な技術や知識を追究し、それを社会に提供できる専門的職業人を養成する。

こども学科

人材養成目的

子育てをめぐる環境の変化について深く分析するとともに、様々な角度から子どもについて研究し、子どもたちの健全な成長・発達を支援することのできる人材を養成する。また、保護者と連携して子育てを支援し、地域の子育てネットワークを活性化できる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

- 1.社会人として必要な良識や教養、コミュニケーション能力を持ち、人々と協力して豊かな社会の創造に寄与することができる。
- 2.現代社会におけるさまざまな問題の中から、課題を的確に見つけ出し、大学で取得した知識・技術を用いて積極的に取り組むことができる。
- 3.子どもの発達とその道筋を深く学び、多様な成育歴を持つ子どもたちと、それを取り巻く家庭や社会の状況について理解することができる。
- 4.保護者や地域社会と関わり、連携することを通して、子どもの健全な成長を支援することができる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- 1.高等学校教育からの連続性と大学生活への適応に配慮した基礎教育を行うとともに、豊かな人間性と教養を培うための教養教育を実施する。
- 2.乳児期から児童期までの子どもの発達の連続性と発達の過程を長期的なスパンのもとに理解するための専門科目を履修する。
- 3.保護者と連携し、保護者の子育てを支援できる能力を養成し、保護者との円滑なコミュニケーション能力を育成するための専門科目を履修する。
- 4.保幼小の連携を理解し、子どもの発達にあった適切な保育・教育ができる人材を養成するため、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の3資格を併有できる教育内容とする。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

- ・保育士・幼稚園教諭・小学校教諭をめざす意欲的な人。
- ・子どもの心に寄り添うことができる人。
- ・子どもが好きで、子どもの成長・発達を援助したい人。
- ・人と触れ合うことが好きで、人の世話や援助が積極的にできる人。